

平成31年度

学校運営協議会だより

抜けるような青空に紅葉の生える季節となりましたが、保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、去る 10 月 25 日(金)に第 3 回学校運営協議会を実施しましたのでご報告させていただきます。

出席者 (敬称略): 俣本 哲也、渡辺 修一、飯島 照美、杉之原 峰子、小笠原 恵子、稲垣 さつき、
福原 憲生、田野倉 宏美

会長挨拶

今回初めて運動会を午前中に終了するという試みでしたが、保護者、地域の皆様から賛否両論ありました。新教育課程編成での授業時間の確保のためにも、今後も学校・保護者・地域が手を取り合っているように学校運営をサポートしていきたいと思えます。

議題① 平成 31 年度 運動会の反省

10 月 20 日に令和最初の運動会が晴天の中、子ども達の元気な声に包まれながら行われました。今回の運動会を通して、学校からはブロック(低・中・高学年)での活動による教えあう活動、学びあう活動が活発になり、レース数を変更したことで運動の得意・不得意な子どもへの配慮ができ、運動会の狙いに沿った実施ができたという報告がありました。

保護者の皆様からのアンケートからは、午前中で終わったけれど見応えは十分だった・お弁当の用意が無かったお陰で余裕を持って子どもを送り出すことができたなどの賛成意見の他に、やはりお弁当を子どもと一緒に食べたかった・中学年リレーなど、もっと競技種目を増やしてほしいなどといったご意見もありました。

これらを踏まえ、より良い学校運営を行なえるように、保護者の皆様との相互の理解を深めるべく、意見交換の場を設けることが必要だと提案しました。これは「不適切な言葉遣いや暴力」「家庭での子どもと接する時間の不足」「ゲームではない遊びの奨励」などの学校生活における課題解決のためにも、学校と保護者が一緒に見直していける有意義な方法と考えられます。

議題② 吹奏楽クラブの活動について

現在、松中小学校の吹奏楽クラブは課外授業ではなくクラブ活動として活動しています。部員数は 12 名と少ないため音に厚みを作れない状況の中で子ども達は頑張っています。このままでは部員数が見込めず活動維持が難しいが、どうしたら良いかと発議されました。

吹奏楽クラブは学校行事や地域の行事にも欠かせないもので、子ども達の大切な活躍の場でもあることを再確認し、今後部員数が増えるようにするにはどうすべきか話し合いました。その中でプロや七中吹奏楽クラブの演奏に触れるなど音楽に興味を持ってもらえるような機会を作ることが挙げられました。

以上が第 3 回学校運営協議会にて話し合った内容です。学校運営がより良い方向に向かうように保護者の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。ご理解、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。